

※同時開催 JOCアテネオリンピック公式写真展2004（入場無料）

ONE MOMENT IN TIME

SSF世界スポーツフォトコンテスト2004写真展

2004年10月21日〔木〕～11月3日〔祝日〕

東京都写真美術館 B1展示室

（恵比寿ガーデンプレイス内）

10:00～18:00（木・金曜日は20:00まで）月曜休館

入場料 一般600円 大学生500円 小・中・高・65歳以上300円

幼児・身障者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

※20名以上は団体割引

【主催】SSF審判スポーツ財団【後援】外務省、文部科学省、国連教育科学文化機関、国際トリムフィットネス生涯スポーツ協議会、アジアニア・スポーツ・フォー・オール協会、（財）日本オリンピック委員会、（特）日本ワールドゲームズ協会、（財）日本体育協会、（財）ブルーシー・アンド・グリーンランド財団、（財）日本ユニセフ協会、東京都歴史文化財団 東京都写真美術館【協賛】キャノン株式会社、アディダス ジャパン株式会社、富士写真フイルム株式会社【特別協賛】日本財団

問い合わせ 「SSF世界スポーツフォトコンテスト事務局」
東京都港区虎ノ門1-15-16 TEL:03-3580-5854 FAX:03-3580-5968
http://www.ssf.or.jp/ e-mail: wssp@ssf.or.jp

Canon adidas FUJIFILM 日本財団 The Nippon Foundation

SSF世界スポーツフォトコンテスト2004写真展

“世界最高峰のスポーツフォトコンテスト” 厳選な審査の結果選ばれた優秀作品の数々。肉体の感動、緊張の瞬間など、まさにスポーツの一瞬を捉えた作品や、思わず笑みがこぼれるほのぼのとした作品まで、それぞれに驚きと感動がいっぱいです。子供から大人まで、たくさんの人を楽しんで頂ける写真展です。1枚1枚の写真から表現される熱いメッセージや喜び・驚き・悲しみの感動を味わって下さい。

SSF世界スポーツフォトコンテスト2004入賞者

Gold Prize (500万円) Mrs. Lene Esthave (Denmark) “A Kiss for the Bronze Medal”

Special Photograph Award (Canon Award) (100万円) Mr. Brett Costello (Australia) “The Power and Beauty of Sport”

Special Photograph Award (adidas Japan Award) (100万円) Mr. Adam William Pretty (Australia) “H2O”

SSF Award (100万円) Mr. Stephen Dupont (Australia) “Sumo”

SSF Award (100万円) 榊原清彰 (日本) “Formation”

審査員:伊東順二(美術評論家)、岡野俊一郎(IOC委員)、岸本 健(スポーツ写真家)、柴田倫世(アナウンサー)、鈴木文彦(Number局長)、長友啓典(アートディレクター)、西本正明(作家)、リッチ・クラークソン(元全米報道写真家協会会長) 特別審査員:平澤哲男(キャノン株式会社)、ロブ・ラングスタッフ(アディダス ジャパン株式会社)、神保京子(東京都写真美術館)

入場料 一般600円 大学生500円 小・中・高・65歳以上300円
幼児・身障者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料
※20名以上は団体割引

問合せ SSF世界スポーツフォトコンテスト事務局
TEL:03-3580-5854 FAX:03-3580-5968
http://www.ssf.or.jp/ e-mail: wssp@ssf.or.jp

審査員総評

一枚に綴じ込められた何万語 長友啓典(アートディレクター)

恋人なのか妻なのか?泥にまみれた勝者なのか無事完走したアスリートなのか?どちらともなくかけより喜び、ねぎらい、愛情いっぱい何ものにもかえがたいキス。この写真のなかに見えるドラマは色々な想いを彷彿させる。これこそ一枚の写真の力だと思ふ。組み写真とか動画での競舌に語るのではなく、一枚の写真に綴じ込められた何千語、何万語のドラマを感じる。

共有できる喜び 柴田倫世(アナウンサー)

何十年取材を続けても「アスリートからいまだに、ハッとさせられるような答えが返ってくる。無の状態からすべてを作り出すことが出来るのは芸術家とアスリートだけだ」と思う。芸術家が作品を生み出すようにアスリートは自分の体で瞬間的な作品を作り出していくから。」これはソルトレイク冬季五輪で出会ったフリーのスポーツジャーナリストの方が話してくれた言葉です。生まれて初めて出会ったスポーツの解釈にガーンと頭を打たれたような衝撃が走った瞬間でした。社会人7年目。入社以来スポーツ番組に携わってきた私のスポーツの見方を180度変えたという意味では最も影響を与えた言葉だったかもしれません。ところが、そんな私の解釈に新たな1ページが加わるようになりました。今回、金賞を撮った作品「A kiss for the Bronze Medal」です。実はこの作品を選考する際、審査員の間で意見が真っ二つに分かれました。一つは「スポーツの美しさや躍動感そのものを表した写真ではない」という意見。そしてもう一つは「スポーツそのものを表現しているわけではないが、達成した後の喜びがこの写真1枚によく表れている。琴線に触れる」という意見。どちらの意見が間違っているわけではない。ただ、解釈が違うのです。私自身のことを言えば、この写真に惹かれて仕方ありませんでした。確かに、スポーツー特に一流のスポーツ選手たちが極限の緊張感の中で見せるパフォーマンスは人間の常識や限界を超える何かを人々の心に訴えてくるものです。しかし、そんな選手たちの姿も、もしかすると私たち誰もが共感できるような素朴なきっかけによるものなのかもしれないのです。多くの感動を呼んだアテネ五輪で、息子のために銀メダルをとったアーチェリーの山本博選手を代表するように…この写真は、スポーツによって生まれる「共有できる喜び」そのものを表現しているのではないのでしょうか。

静かな瞬間 リッチ・クラークソン(元全米報道写真家協会会長)

長年にわたり開催されているSSF世界スポーツフォトコンテストでは、これまでアクションを正確に伝える写真、美しくドラマチックな写真、ストーリーを伝える白黒写真など、様々な優れたスポーツ写真にゴールドプライズが贈られてきました。審査員は本年のゴールドプライズを今までとは大変異なる視点で選びました。その作品は、競技者が試合会場から離れ素敵なパートナーと勝利を分かち合う瞬間を見事に表現しています。今までの受賞作品とは異なる場面ではありますが、今回のゴールドプライズの写真も素晴らしいスポーツ競技の瞬間を鋭く捉えています。スポーツ競技を見事に描写した他の本年度入賞作品とは対照的に、この作品は勝利の後の静かな「瞬間」を捉えており、スポーツそのものを撮った他の優れた作品を補完する作品となるでしょう。

肉体の心 伊東順二(美術評論家)

「SSF世界スポーツフォトコンテスト」創設当初から、私たちが願っていたことはスポーツを「競技」として見るのではなく、言い換えれば、「共技」もしくは「共善」、つまり共に能力を高め、純粋な心を響かせあう、人生の理想的な集約形をスポーツの中に見てほしいということだった。そんな作品の登場をいつも心待ちにしているのである。今年のアテネ・オリンピックでも思い出に残るシーンが数多くあった。例えば、暴漢に進路を妨害されながらも、彼をなじるでもなく、銅メダルを取ったことを神に感謝したマラソンのハンデルレイ・デリマ選手。審判のミスジャッジにあっても、金メダル以上の銅メダルと喜んだレスリングの浜口京子選手。彼らはメダルを取ったのに負けていつまでも悔しがる選手たちよりもはるかに大きな感動を私たちに与えてくれた。それは私たちが、オリンピックのような究極の競技の場であっても、理想的な肉体の中に理想的な精神の発揚を見たいと思っているからだろう。そんなスポーツにかけ人々の想いを映し出す写真に私たちは価値を見出したいと願っている。その意味で、今回のゴールドプライズの作品「A kiss for the Bronze Medal」は、画面ににじみ出るあふれんばかりの愛情と達成感が、私たちのコンテストの目指すところのものを余すところなく表現してくれているように感じる。このような作品はスポーツの価値を高めるばかりか、優れた戦場写真に勝るとも劣ることなく、「平和」への希求を促すものである。と思っている。本年度の入選作品のラインナップを見ても、そんな視点を持つ作品の数の多さに、この賞のスポーツに対する貢献があるように思えた。

同時開催のお知らせ JOCアテネオリンピック公式写真展2004 Impression from the ATHENS OLYMPICS 2004年10月21日(木)～11月3日(水)

オリンピック発祥の地アテネで開催された第28回オリンピック競技大会。そこで活躍した選手たちの印象的な写真で構成した財団法人日本オリンピック委員会(JOC)主催の公式写真展。写真はその記録性と芸術性の高さを評価を得ているアフロスポーツ(JOC公式写真チーム)とGetty Images(IOC公式写真チーム)によって撮影された数万点の中から厳選された作品のみを展示します。

主催:財団法人日本オリンピック委員会

会場:東京都写真美術館B1F

期間:2004.10/21～11/3

入場無料

写真:アフロスポーツ(JOC公式写真チーム)

Getty Images(IOC公式写真チーム)

